



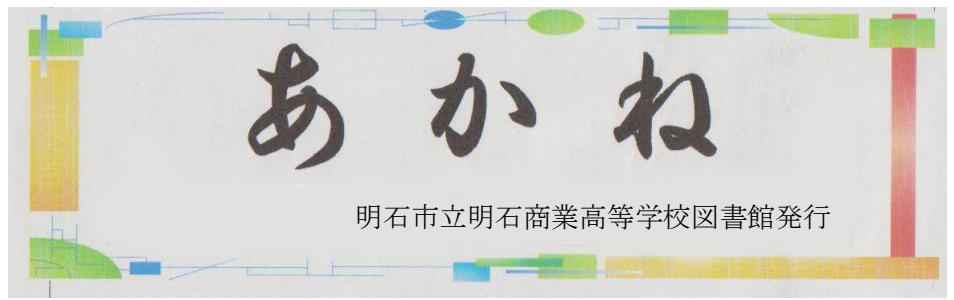
読書のすすめ

「そして、僕は旅に出た。はじめの森 ノースウツズ」

校長 橋本 浩二

大竹 英洋 著

この原稿を書かせていた



明石市立明石商業高等学校図書館発行

だくにあたって、私は「読書スタイル」や「本との出会い」についてお話しすることが多かったのですが、今回は感銘を受けた本についてひとこと。まず、この本との出会いは、NHKラジオで毎週土曜日の朝放送している「山カフエ」という番組です。番組は、山を愛する登山家や冒険家が毎週ゲストで出演し、その方のインタビューを中心にトークが展開されます。著者が、ゲスト出演した回の放送を聴いた私は、紹介されたタイトルの本をすぐに読みたくなり、近所の本屋に行きました。少々特殊な本のためにどこにも在庫がなく、超大型書店の明石駅前ジュンク堂に電話で在庫確認をして、手に入れました。写真家になることを決心していた著者は、特に何を撮りたいわけでもなくぼんやりと考えていたある日の晩、夢の中で、オオカミに出会い、その鋭い視線と目を合わせます。その後オオカミは森の茂みの中に走り去りました。目が覚めた後も、部屋の真つ暗な天井に、たった今見たオオカミの鋭いまなざしとその残像がいつまでも浮かんでいます。そこから筆者は、家族に行き先と期間だけを伝え自然写真家では世界一ともいわれるアメリカの写真家のもとに弟子にしてみたらおうと旅立ちます。これが、「大竹英

洋」という偉大な自然写真家が生まれる第一歩となります。小説家ではない著者の、心に染みる文章が必読です。「憧れ」や「夢」を実現させる「行動力」、今の自分にとって羨ましい限りです。お正月の風物詩と言えば、「東京箱根間往復大学駅伝競走」、通称「箱根駅伝」を思い浮かべる人もいるのではありませんか。一月二日・三日、関東学生連盟に所属する大学が、二百十六kmもの距離を二日間にわたって十人の襷リレーで競い合う駅伝競走です。その箱根駅伝に、高校時代の大きのため一度は競技を諦めた灰二、高校時代超高校級の選手だったが不祥事



「風が強く吹いている」

三浦 しをん 著

教頭 田中 盛雄



を起こし退部した走、そしてその二人と同じ竹青荘に同居していた大学生、この十人が、無名の寛政大学陸上部として箱根駅伝に挑む物語です。ほとんどが陸上競技の素人という集団なのに、誰かが辞めて九人になると予選会でさえ出場できない状況のため、一人も欠けることが許されない中、陸上長距離選手の間で箱根駅伝を目指して過酷な練習をこなし、出場してしまおうという漫画によくある設定です。しかし、この話に出てくる大会記録などが、本物の箱根駅伝と全く同じに書かれているので、読み進めていくうちに、寛政大学が予選会をクリアし、本戦に出場したことが現実のように感じられ、感動させられました。大学進学する人の中には、体育会の部活動やサークルにおいて、高校までに経験できなかつた仲間とともに自分達で構想を練り、意見を戦わせながら一心不乱に努力して、目標達成を目指すという経験をやる人がいるはずですが、まさに学生時代にしかできない経験であり、その青春のページが感じられる作品となっています。

「少年H」

妹尾 河童 著

事務局長 前園 直孝

あなたの町に空襲があつたらどうしますか？

自分の家に焼夷弾が落ち、町中が火の海になる中で、一緒に逃げようとした母親が恐怖のあまり失神している。そんな状況の中、主人公の「少年H」はどうしたと思いますか？ この話は、妹尾河童さん（本名「肇」）の自伝小説で、太平洋戦争とその時代を少年の目を通して伝えるものです。映画にもなった大ベストセラーです。主人公「少年H」は、地元神戸市長田区に住み、神戸二中（現在の兵庫高校）に通っている、皆さんと同じくらいの年齢の少年です。戦争の話というと「難しいのでは」と考えるかもしれませんが、主人公はかなりのやんちゃで好奇心が強く、色々やらかすので、かなり面白い小説です。ほとんどの漢字にルビがふられていてのことから、読みやすいです。何より文章のリズムが良く、その世界に引き込まれます。本が苦手な私でも読むことができました。この小説を読むことで、「生きる」ことの意味を改めて考えさせられる、そんな小説でもあります。高校生の皆さんには是非読んでほしい、そんな一冊です。



「入社1年目の教科書」  
岩瀬 大輔 著  
一年三組担任  
石田 涼太



「誰も何も教えてくれない。」社会に対する第一印象でした。「仕事の方法」「やり方」「こなし方」は教えてもらえます。ただ、「心構え」や、「配慮」「立ち居振る舞い」などは、目に見えないものはだれも教えてくれません。教えてくれないなら自分から学ばなければ、と思いついたのがこの本です。いわば、原則のようなものです。  
①頼まれたことは必ずやりきる。  
②五十点で構わないから早く出せ。  
③つまらない仕事はない。(何事も全力で取り組め)  
原則は、「当たり前」であることがほとんどです。ただ、見

返してみると、当たり前前にきてないことがあることに気付きます。その方向性を一つ一つ確かめながら学ぶことができる本です。他にも、「何のために、で世界が変わる」「仕事の効率は最後の五分で決まる」「仕事は復習がすべて」など、どの分野・業種に行っても役に立つ本です。ぜひ、「入社2年目の教科書」「二十代を無難に生きるな」とともに、読んでみてください。

「下町ロケット」

池井戸 潤 著  
一学年 担任  
大西 琢澄



この作品は、小説としてだけでなくドラマにもなった為、知っている人もいると思います。

小さな町工場という、環境的に厳しい中で大企業にも負けず奮闘する主人公はとも輝いていると感じると思います。今回は、作品の中の主人公の台詞で、私が感銘を受けたものを紹介させていただきます。紹介したいと思います。今回、紹介させていただきます。

のは、「どんな環境でも辛い事は必ずある。その時に人のせいにするな。」です。この台詞は、主人公が社長をしている会社で社員の一人が退職を申し出てきた時の場面での台詞です。自分で学校や会社を決めて進学や就職をしても、辛い事ばかりではなく、辛く苦しい時は、必ず訪れると思います。その時に人のせいにして、自分は何も変わるうとしない。そんな人間にはなつてほしくないという主人公の社員に対しての思いが伝わったものだと感じとれると思います。  
今回は、作品の中で私が感銘を受けたものを紹介しましたが、他にも素晴らしい台詞が多くあります。「下町ロケット」という作品は、ドラマにもなっているの  
で、ドラマとの違いを本を読んで発見してみたいという楽しみ方も出来るお勧めの作品です。



「クトゥルフ神話体系」  
ラヴクラフト・その他 著  
総務部

加藤 仁志

皆さんは、クトゥルフ神話をご存知でしょうか。聞いたことがないという人がほとんどだと思えます。従来の神話体系はその土地を中心に関係するものが大半を占めています。日本神話、ギリシ

ア・ローマ神話、オーディン神話、など上げればきりが無いほどです。おそらく知っている人はごく一部の人がいないでしょう。ラヴクラフトは善と悪だけに対極するものではなくカオス的のなるものがあります。また此の事に関する書いてある作者は一人にとどまらず、世界中で賛同する人が作品を書いていきます。内容は創造神に近い、言葉では表現ができません。モノが描かれています。旧支配者、旧神、地球本来の神、異種族など摩訶不思議な存在で溢れています。私は一度騙されたと思って読んでみてください。日本人作家としては、菊池秀行、栗本薫、田中芳樹などが書いています。善と悪の狭間、過去と未来の狭間を覗いてみませんか。人を超える存在を確かめましよう。



「星の王子さま」  
サン・テグジュペリ 著  
保健部  
小林 明日香

この作品を読んだことがなくても聞いたことがある、知っているといる人も多いいのではないのでしょうか。それくらい世界的にも有名な作品です。

作品の主人公、パイロットの「僕」は周りの人と上手く付き合えず本当の自分を隠して生きていきます。ある時飛行機が故障してしまい砂漠に不時着しました。そこで小さな少年と出会います。その少年こそタイトルでもある王子さまです。王子さまは星々を旅して周つていて旅の途中で出会った遠い星の変わった大人達や友達とのキツネの事を僕に話してくれました。王子さまの話を聞いているうちに僕は色々なことに気付かされていきます。その中でも印象に残っているのは「大切なことは目に見えない」という言葉です。この言葉の意味の捉え方は人それぞれ感じることがあると思います。この作品にはそのようなニュアンスの言葉がたくさん使われ、読者の心情に訴えかけ、環境が変わつたり年齢を重ねるなど自分が成長するにつれて新しい捉え方ができ、何度でも読み返したくなる魅力があります。だからこそ七十年以

「読書のすすめ」というテーマで原稿の依頼を早くから受けていたのですが、なかなか書き始めることが出来ず、切りが近づいてきて、悩んだあげく表記の書籍を生徒の皆さんにお薦めすることにしました。

書籍名を見て「何、これ？」と思われた人もおられるかと思いますが、そうです、簿記の教科書です。なぜ教科書を読書のすすめにと思われるかもしれません。簿記の授

「教科書『新簿記』」  
 安藤英義 著  
 総務部 津田 富美男



上経った今でも愛され続ける作品であると思います。読書が苦手な人でも作者自ら描いた可愛い挿絵がたくさんあるので楽しめると思っています。



業を思い出してください。授業は問題集を中心にどんどん進んでいきましたね。なぜ？ 簿記の授業の大きな目標のひとつとして、検定試験の合格を目指して授業が進んでいきましたね。そして多数の生徒の皆さんが合格してくれました。

生徒の皆さんの中には、簿記をもっともつと学習したい人、ちよつと学習の理解が怪しくなり復習をしたいと思っている人等々がいると思います。このような人達はずひとも『新簿記』の教科書を改めて読み返してより理解を深めてもらいたいと思っています。

教科書はどの教科も同じですが、生徒が理解しやすいよう工夫し、丁寧に作られています。ぜひ生徒の皆さんの興味、関心、理解を一層進めるために、教科書『新簿記』を利用してみてください。



この本は、将来の進路に迷う高校二年生の主人公が、手紙屋さんと文通をする中で、何のために勉強するのか、何のために進学するのか、自分のために進学するのか、自分のこと、それらを手紙屋さんとのやり取りの中で考え直すという非常に読みやすい内容です。

本の中で、「合格するかしないかではなく、自分を磨けたかどうかによって、勉強という道具をうまく使えたかどうかが決まる。だからこそ合格して不幸になる人もいれば、不合格になっても幸せを手にする人もいます。」とありました。必死に勉強して検定試験に不合格になっても、「自分を磨けた」と考えれば検定試験や定期考査への取り組み方が変わると思っています。僕自身、この本を読んだのは大人になってからですが、学生の頃にこの本に出会ったかっと思わせてくれる内容でした。是非読んでみてください。

「手紙屋 蛍雪編」私の受験勉強を変えた十通の手紙」  
 喜多川 泰 著  
 一年二組 担任 中川 琢士

戦争という理不尽なものによって犠牲になられた方々、常に、死を覚悟して生きていた時代、自分への愛、家族への愛、他人への愛、どれも大切ですが、死を目の前にした時、人間はどういった感情になるのか、自分の望むものでない、死を受け入れることの切なさなど、この一冊には今の生活がどれだけ恵まれているのか、改めて考えさせてくれる一冊になっていると思います。コロナ禍のこの時代だからこそ読んで

「永遠のゼロ」  
 百田 尚樹 著  
 一年七組 担任 平峯 康二



「逆ソクラテス」  
 伊坂 幸太郎 著  
 二学年 担任  
 藤木 文香

皆さんは「生きること」についてじっくりと考えたことがありませんか。私はよく「自分はなぜ生きていますか」とか「何を目的に生きていますか」とかというように、本を読んだり話を聞いて、答えを追い求めたいという気持ちがあるわけでもありません。そんな哲学的なことを考えることが好きな私が、最近出会った本が「逆ソクラテス」です。五つの短編からなり、全編を通して生きる上で重要なヒントを私たちに与えてくれます。

この本はジェンダー問題をはじめ、タイムリーな社会問題を織り交ぜながら、生きる上でどんな考え方をすればよいか等の提案をくれます。啓発本ではなく小説という形であるところが私にとってのポイントです。フィクションだからこそ、著者の価値観を押し付けられることなく、生きることを考える上で大切なチップを与えてくれるという心構えで読むことができます。人生は人それぞれ違います、その違いに関係なく一人一人が生き方を考えるための余白を持たせてくれます。これからの

人生に悩んだとき、ゆっくり立ち止まって考えたいとき、人生の管休めとして気楽に読んでみて下さい。後味スッキリな作品です。



「逆ソクラテス」伊坂 幸太郎  
 僕は、先人視。敵は、世界をひっくり返せ！  
 そうは、思わない！  
 伊坂幸太郎史上、最高の傑作。デビュー20年目の第9回講義！

「伏見工業伝説 泣き虫先生と不良生徒の絆」  
 益子 浩一 著  
 生徒指導部 増田 たまみ

2019年にラグビーW杯が日本で開催され、ジャパンが史上初のベスト8に輝いたことは、皆さんの記憶に新しいと思います。このW杯がきっかけでラグビーの魅力を感じてラグビーファンになった人も少なくないのではないのでしょうか。

私のおすすしめしたい本は、そのラグビーに関する本です。ドラマ「スクール☆ウォーズ」のモデルとなった京都・伏見工業高校(現…京都工學院高校)ラグビー部の立役者、泣き虫先生こと山口良治先生とラグビー部員の不良生徒の絆が描かれています。最も印象に残っている場面があります。それは、山口先生が伏見工業に赴任して初めての練習試合で花園高

校に112対0という大差で負けた後、部員たちの本音が溢れ出したシーンです。「悔しい」「勝ちたい」「先生についていく」といった部員たちの本音です。この花園高校との練習試合がきっかけで、伏見工業高校ラグビー部の伝説が始まり、全国高校ラグビー(通称…花園)優勝4回の強豪校に成長します。

ラグビーファンの人もそうでない人も、読み終われば心が熱くなる本です。ぜひ一度、手に取って読んでみて下さい。



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」  
 廣嶋玲子・Jyajya 著  
 事務局 岸 亜希子

テレビでアニメが始まったので見始めたのですが、親子でぐいぐい引き込まれてしまえば是非、原作を読んでみたいと思えました。

選ばれた人が買うことができる不思議な駄菓子屋「銭天堂」

買った人が幸せになるか、不幸せになるかは、その人次第メリットとデメリットがあり、説明書をきちんと読まずに使い方を誤れば起こるリスクがあり、世の中甘い話だけではないことが感じられる物語です。

児童書ですが、大人もいろいろと考えさせられます。自分ならどうするか…。そんな風に空想を広げていくことが出来るような面白い内容です。



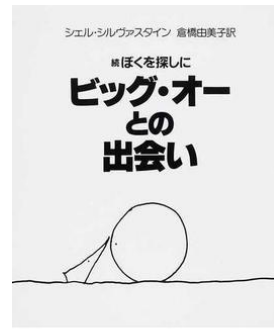
「ビッグ・オーとの出会い」  
 シェル・シム・マタン 著  
 倉橋 由美子 訳  
 事務局 竹本 真矢

「生徒のみなさんにおすめの本を。」と、原稿の依頼を受けてから私自身、今までどのような本を読んできたのだろうかとうと改めて振り返ってみました。

振り返ってみると、学生の頃、社会に出てから、結婚してから、親になってから、現在と、その時に話題になっていた本や、当時私が気になっていた本を読んではいました、特別何かにこだわりを持って本を選んではいませんでした。ですが、学生の頃から何度も読み返している絵本があります。

以前、嵐の松本潤さんが番組でおすすしめして話題になった「ぼくを探しに」という絵本をご存知ですか？その続編として出版された「ビッグ・オーとの出会い」という絵本をおすすしめしたいと思います。二冊とも背景や色もなく、文字数も少なく、とてもシンプルであつという間に読むことが出来る絵本です。シンプルがゆえに色々な解釈ができるので、自分の考え方を振り返ってみる、いきつけになるのではないのでしょうか。家族や友人、周りとの距離感、人と自分を

比べて落ち込んだ時には、ぜひ一度手に取ってみてください。読む前と後できっと何かが変わると思います。



「嫌われる勇氣」  
岸見一朗・古賀史健 著  
事務局 鷲 優花

みなさんには今どんな悩みがありますでしょうか。私が高校生の時は、成績や交友関係等、毎日次から次へ色々なことに悩んだ気がします。もちろん、時が経って大人になった今でも悩むことは多々あります。その中で私が出会ったのは『嫌われる勇氣』という本です。

この本では、アドラーの心理学を習得している哲人と、悩みを抱える青年との対話が書かれており、どんな悩みを持っていたとしても「人はいまこの瞬間から変われる

し、幸福になることができる」「人が変われないのは自らに対して「変わらない」決心を下しているからだ」と説明されています。

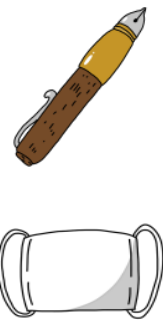
問題解決の実践方法までお話ししてしまうとネタバレになってしまいますが、ただ一歩「変わるう」という勇氣さえ持てば、人は変わることが出来るし、世界観を一変させることが出来ます。

心理学の本と聞くと難しいイメージを持つ方もいるかもしれませんが、しかし、この本は対話形式で進められているので、内容がとても理解しやすく、私たちが「そんな簡単に人は変われるわけがないだろう」といった心の内も、青年が代弁してくれます。

とても奥深い内容ですが、スツと心に落ちる部分もありました。悩み多き高校生の皆さんがこの本を手に取り、何かの悩みに対して背中を押すきっかけになれば幸いです。



図書館より



六十七回生の皆さん、卒業おめでとうございます。進学する人も社会人になる人も本を読むことは、気分転換にもなり、新たな発見があり、新生活の何らかの助けになると思います。

現在91歳になる母を介護しています。老老介護です。わからないことも多く日々反省の毎日です。お医者さんが認知症の患者さんについての本を出版されていたので読んでみると、一番身近な人に「私のお金を盗った!」というそうです。この言葉を言われた介護者は、当然嫌な気持ちになります。このお医者さんは、この言葉は、介護者にとつての勲章です。と書いてありました。物盗られ妄想は、患者さんの一番よく面倒を看てくれてる人に言うようです。私もこの勲章を母からももらえました。「ボケ日和」という本で、介護者になる前に読んでほしい本です。あらかじめ認知症患者がどう変わっていくのかを知ってれば、介護者の恐れや不安が軽減すると思えます。



編集後記



「館報あかね」第一一六号をお届けします。「読書のすすめ」には、今年度、新しく着任されました先生方を中心に執筆をお願いにあがり、またとこ、快くご承諾いただきました。生徒の皆さんの新たな本と出会い、知らなかった世界を広げることのきっかけになれるように願っています。

令和四年度の着本は、七月初旬に届く予定です。今回、先生方にご紹介いただいた本も蔵書の無い分については、購入して手に取っていただけるとするつもりです。

是非図書館に来て先生方の推しの本を読んでください。また読んでみたい本があれば、図書館の担当者か図書委員に連絡してください。出来るだけ希望の本を揃えるようにしたいと考えています。民間人の宇宙旅行が実現する世になり、また体験したことが本になるのか?と思考したりしています。興味はありますか? 『カミジ!』というコミッ

クを今図書館に入れていきます。本校の卒業生の車いすテニスの上地結衣選手について書かれたものです。漫画で表現しているのですが、手に取りやすいと思います。また見に来てください。またホームページに、図書の新着案内を掲載していますので、ホームページもチェックして、是非図書館を利用してください。

(図書館長)



上地結衣選手の  
コミックです！

